

山岳科学共同学位プログラム シンポジウム

“いま山岳にどのような科学が求められるか”

山岳科学共同学位プログラムとは？・・・

筑波大学を中心に静岡大学、山梨大学、信州大学、オブザーバーとして岐阜大学、富山大学、名古屋大学の7大学で準備を進めている共同教育プログラム（修士課程）です。このプログラムでは山岳地域が直面する複合的問題の解決に資する人材育成を目指しています。

本シンポジウムでは山岳科学を今後どのように構築していくべきか、またどのような人材育成が必要かなど、“山岳”に関わる多分野の方々をお招きし、講演を通して考えていきたいと思ひます。

基調講演

“限界に向かってチャレンジ”

望月 将悟

トレイルランナー・静岡県消防局山岳救助隊。富山湾から静岡・駿河湾までの日本アルプスを大縦断する“トランスジャパンアルプスレース”で2010年、12年、14年と3連覇。その様子はTVなどでも紹介された。東京マラソン2015“40ポンドの重りを背負った最速マラソン選手”としてギネス世界記録更新。幼少時代は静岡県井川で山とともに生活した“静岡の熊”。

“山地森林への温暖化影響評価”

松井 哲哉

森林総合研究所植物生態研究領域チーム長。森林生態学、植生地理学が専門。東京農工大学在学中にブナ林に興味を持つ。環境コンサルタント会社を経て、ニュージーランド・オタゴ大学にて森林生態学を学ぶ。その後、森林総合研究所にて地球温暖化がブナ林に与える影響についての研究を開始。分布予測モデルによるブナ林の生態的分布適域予測のほか、北限域のブナ林の動態についても研究中。



イタリアでジャンプ！（望月将悟氏）



日本の山を代表する広葉樹ブナ
（写真：松井哲哉）

パネリスト：

- 大林 圭司（環境省長野自然環境事務所国立公園企画官）
- 増田 真佑（鹿島建設株式会社・筑波大学生命環境科学研究科卒業生）
- 酒井 敬子（登山&バックカントリーガイドことりウム）

オーガナイザー：津田 吉晃・廣田 充（筑波大学生命環境系）

日時：平成27年11月29日（日）

9:00～12:00

場所：菅平高原 プチホテルゾントック

（〒386-2204 長野県上田市菅平高原1223）

参加無料・申込不要

問合せ先：筑波大学菅平高原実験センター 担当：勝山・津田

TEL 0268-74-2002 : E-mail sangaku2015@sugadaira.tsukuba.ac.jp

